

令和6年度の決算報告

■ 歳入の内訳の依存財源 (グラフの □ の部分)

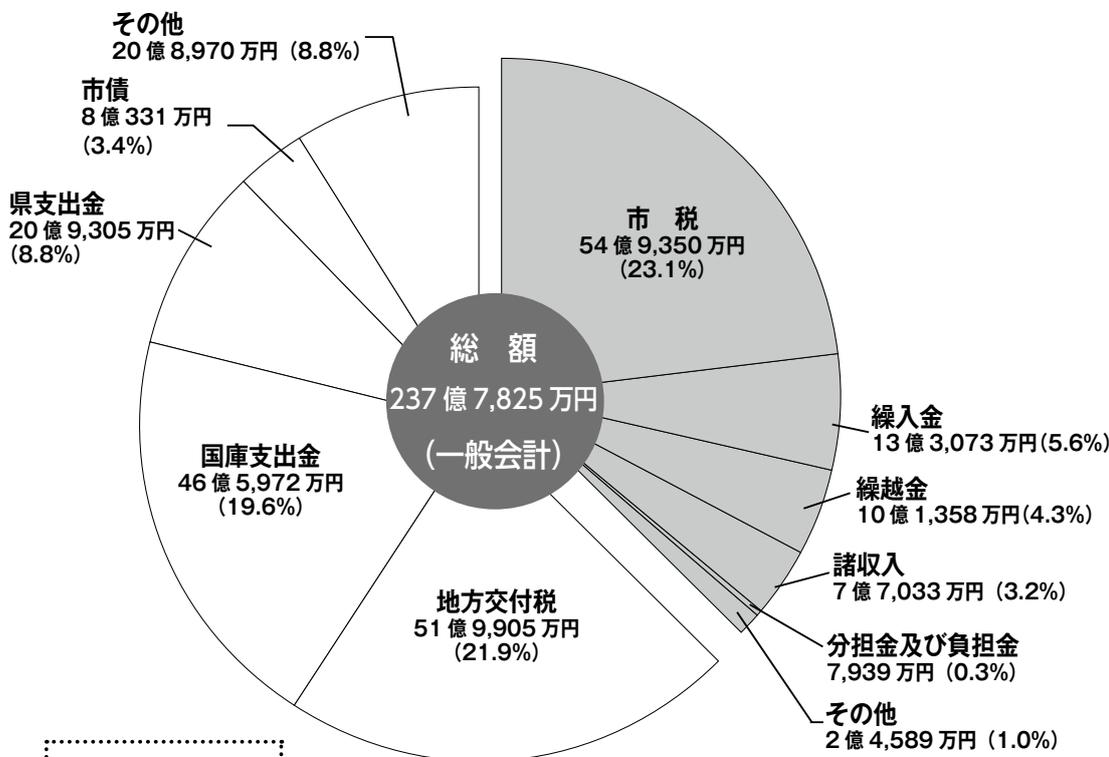
国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入をいいます。

- 地方交付税…市の財政力に応じて国から交付されたお金
- 国庫支出金…事業に対する国からの補助など
- 県支出金…事業に対する県からの補助など
- 市債…大きな事業をするときなどに借りたお金(市の借金)
- その他…国や県から譲与(配分)されたお金など

■ 歳入の内訳の自主財源 (グラフの ■ の部分)

皆さんが納めた税金や使用料、手数料など、市が収入として得た財源をいいます。

- 市税…市民税や固定資産税など
- 繰入金…基金(市の貯金)の取り崩し
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 諸収入…学校給食費や助成金など
- 分担金及び負担金…保育所保育料など
- その他…使用料や手数料、財産収入、寄附金など



決算は皆さんの家庭の家計簿と同じで、地域づくりの記録でもあります。この「家計簿」を見れば、皆さんが納めた市税や市内の施設の使用料などがどのように使われ、地域づくりがどのように進められているかが分かります。では令和6年度の市のお金はどのようにやりくりされたのでしょうか。一般会計を中心にお知らせします。

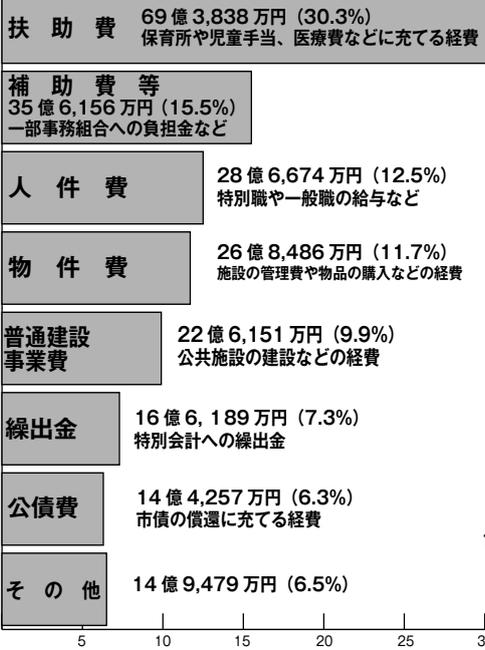
歳入の内訳

● **歳入のトップは民生費**
市税や各施設の使用料など、市に入ってきたお金はどのように使われたのでしょうか。

● **自主財源を支える市税**
令和5年度の自主財源の構成割合が35.1%だったのに対して、令和6年度の自主財源の構成割合は37.5%となっていて、2.4%増加しています。この大切な自主財源の約6割を占めているのは、皆さんが納める市税です。市税は、市の予算を支える大きな柱になっています。

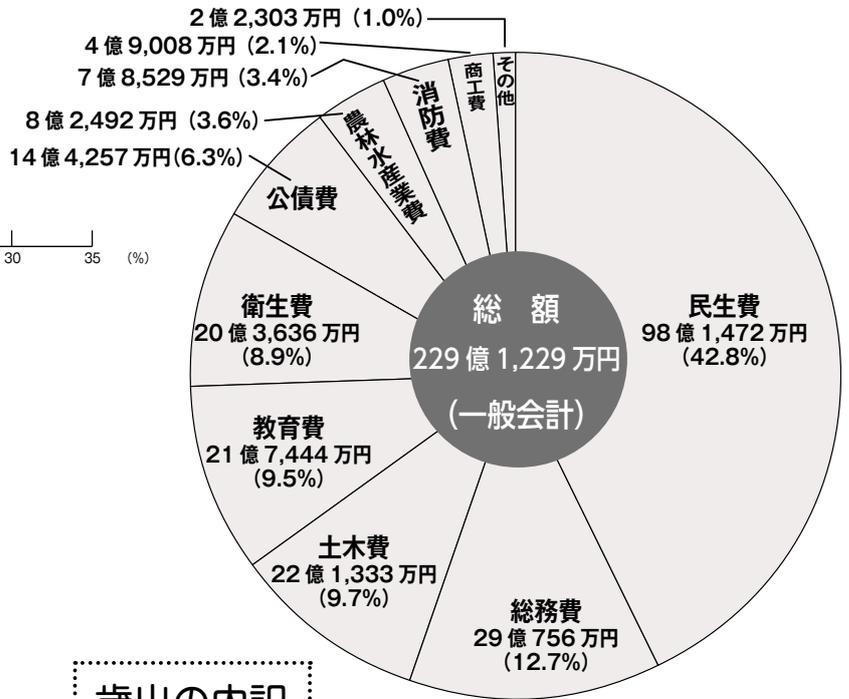
● **決算総額は増加**
令和6年度の決算は、歳出総額で令和5年度を11億2,974万円ほど上回りました。この主な要因としては、令和6年度に実施した滝沢市物価高騰対応重点支援給付金支給事業をはじめとする民生費の増加などが挙げられます。
一方、歳入総額は歳出を8億6,595万円ほど上回り、これは翌年度の財源として活用されます。
歳入には、市の独自の財源である「自主財源」と、国や県からの補助金などによる「依存財源」があります。自主財源が多ければ多いほど市の予算にもゆとりが生じ、さまざまな事業の実施や、将来に向けての積み立てをすることができそうです。

一般会計歳出の性質別内訳



■歳出(目的別内訳)の解説

- 民生費…高齢者福祉や保育所、生活保護などの経費
- 総務費…一般事務経費や財産管理、積立金などの経費
- 土木費…道路整備や公園整備などの経費
- 教育費…社会教育や小・中学校の整備を行うための経費
- 衛生費…病気予防のための各種検診やごみ処理などの経費
- 公債費…借入金の返済金
- 農林水産業費…農林業の振興に要する経費
- 消防費…市消防団員による消防や救急活動などの経費
- 商工費…商工業振興や観光振興などの経費
- その他…議会費、労働費、災害復旧費



一般会計決算(歳出)の推移



一般会計市債残高の推移



特別会計の決算

会計名	収入額	前年度比	支出額	前年度比
国民健康保険	46億9,210万円	△2.5%	46億680万円	△2.7%
後期高齢者医療	6億1,695万円	18.3%	6億1,516万円	18.7%
介護保険	45億204万円	4.4%	44億3,345万円	4.1%
介護保険介護サービス事業	722万円	△22.3%	691万円	△17.1%
合計	98億1,831万円	1.7%	96億6,232万円	1.5%

歳出の内訳

※表内の金額は表示単位未満で四捨五入しているため、総額と一致していません。

●問い合わせ

財務課 (☎65666569)

歳出の第1位は民生費で、全体の42.8%を占めています。次に総務費(12.7%)、土木費(9.7%)、教育費(9.5%)と続いています。市はこれからも、皆さんが納めた大切な市税などを無駄なくやりくりし、効果的にサービスを提供していきます。